

氏名	清水能人
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第887号
学位授与の日付	昭和52年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	血液細胞の脂質代謝に関する研究 第1編 Phenyl hydrazine の処理家兎血球の脂質代謝 (赤血球系細胞を中心に) 第2編 骨髓細胞の <i>in vitro</i> での脂質代謝
論文審査委員	教授 長島秀夫 教授 大藤 眞 教授 水原舜爾

学位論文内容の要旨

血液細胞は肝、脂肪組織に劣らず活発な脂質代謝を行っている。第1編では特に Phenyl hydrazine により惹起された急性貧血家兎における血液細胞(骨髓細胞, 全血細胞, 網状赤血球等)の脂質代謝につき検討した。急性貧血により各血清脂質の著明な上昇が見られたが, 脂質分画には著変を認めなかった。脂質合成面では貧血により著明な合成亢進が骨髓, 末梢血共に見られた。貧血時, 著増する網状赤血球は成熟赤血球と異なり活発な脂質合成能を有していた。第2編ではさらに加齢, 高脂血症等の影響につき検討した所, 老化と共に骨髓細胞の脂質合成の亢進が見られたが, 全血細胞では有意差を認めなかった。又加齢による主要脂質分画, 脂酸分画には著変を見なかった。しかし高脂血症では著しい脂質合成の低下を認めたが, これは骨髓のみならず末梢血でも同様の結果であった。

以上, 骨髓は生体の変化により形態学的のみならず, 骨髓における代謝, 特に脂質代謝の面からも著しい影響を受けることが観察された。

論文審査の結果の要旨

本研究は血液細胞(骨髓細胞, 全血細胞, 網状赤血球)の脂質代謝について実験的に研究したもので, 骨髓は生体の変化により形態学的のみならず, 骨髓における代謝, 特に脂質代謝の面からも著しい影響を受けることを実証したもので価値ある業績であると認める。

よって, 本研究者は医学博士の学位をうる資格があると認める。